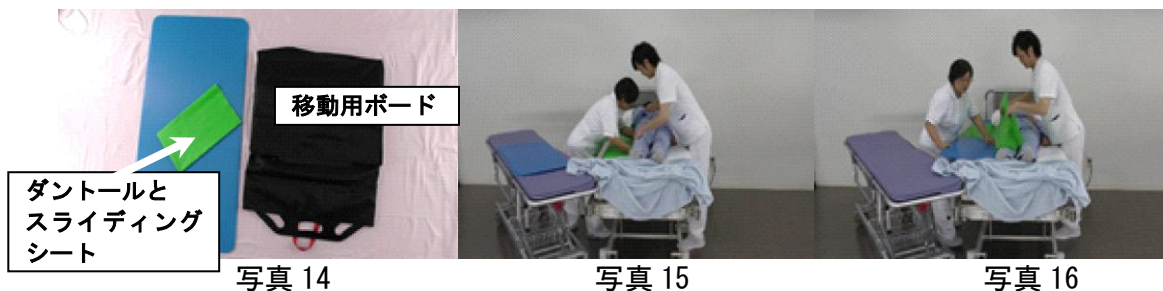


Question 10 : スライディングシートと移乗用ボードを使って、
ベッドからストレッチャーへの移乗を介助するには
どんなコツがありますか？

Answer :

スライディングシートと移乗用ボードを使う移乗は、基本的に介助者 2 人で両側に立って安全を考えて行います。「持ち上げない」「抱きかかえない」「引きずらない」という原則をもとに以下のようなポイントで行います。

- ◆移乗補助用具として移乗用ボード（ダントール）とスライディングシートを準備します（写真 14）。
- ◆介助者の身長 の 55～58% の高さ〔介助者の重心に近い〕にベッドとストレッチャーの高さを合わせます（平田 2013）。
- ◆反対側の介助者が対象者の背部を持ち、ストレッチャー側の介助者がスライディングシートを頸部から下腿まで差し込みます。スライディングシートは、摩擦を減らし、対象者を動かすのに必要な力を減少させることにより、介助者の身体的負担を減少させることができます（写真 15）。
- ◆移乗用ボード（ダントール）を対象者の背部・臀部を少し挙げ、脊柱まで差し込みます（写真 16）。



- ◆介助者はベッドの両サイドに 1～2 名ずつ立ち、手前の介助者は対象者が転落しないようにストレッチャー側から見守り、反対側の介助者はベッド上にあがり対象者の肩と腰部を把持して、ストレッチャー側に移動します。一度でストレッチャーの中央に移動するよりも上半身と下半身に分けて数度にわたって移動した方が、介助者・対象者両者への負担が軽減します（写真 17）。
- ◆ストレッチャー側の介助者はスライディングシートを対象者の腰部や膝関節の隙間に寄せ（写真 18）、二重の下側を引き出し取り除きます（写真 19）。



- ◆移送は 2 名で行うことが望ましく、進行方向に向かって足側を前にして進みます。ただし、上り坂は頭側を前にして進みます。頭側から進行すると気分不快や眩暈を起こしやすくなります。
- ◆頭側の介助者は対象者に声をかけ、状態を観察しながら進みます。スピードやまわり方のスピードは 3km/h が左右方向や前後方向に加速度が少なく(尾黒ら 2014)、回転するときは頭部を中心にして回転し、ゆっくり加速する方法をとります(佐川ら 2010)。
- ◆手順については、p. 21<手順：スライディングボードと移乗用ボードを使用したベッドからストレッチャーへの移乗>を参照してください。

<文献>

- 尾黒正子, 高橋徹, 森將はる (2014) : ストレッチャー移送時の速さの違いが方向転換時における加速度と頭部の重心移動に及ぼす影響, 日本看護技術学会誌, 13(1), 66-74.
- 平田雅子 (2013) : [完全版]ベッドサイドを科学するー看護に生かす物理学ー, 学研メディカル秀潤社 新訂版, 東京, 37.
- 佐川貢一, 角濱春美, 谷川恵子 (2010) : ストレッチャーの移送法と乗り心地の関係, 人間工学, 46(1), 23-30.

**<手順：スライディングシートと移乗用ボードを使用した
ベッドからストレッチャーへの移乗>**

1	対象者本人であることを確認し、目的・手段・経路・所要時間・場所を説明し同意を得る
2	安全にストレッチャー移乗が行えるよう、2人以上の人員を確保する
3	掛物を取り、ベッド柵を取り外す
4	対象者の膝を曲げ、腕を体の上に置く
5	介助者はベッドの両サイドに1名を配置し、安全を図る
6	ストレッチャー側の介助者がスライディングシートを対象者の背部に敷く
7	ストレッチャー側の介助者がスライディングシートの下側に移乗用ボード（ダントール）を敷く
8	ストレッチャーをベッドの近い位置に置き、ストッパーをかけ、ベッドよりやや低めにストレッチャーの高さを調節する
9	ベッド側の介助者は対象者の肩と腰部を把持してストレッチャー側に移動する
10	移動したらスライディングシートと移動用ボード（ダントール）を取り除く
11	掛け物をし、ストレッチャーの両側のサイドレールを上げる
12	ストッパーを外し、移送を開始する

【スライディングシートと移乗用ボードを使用した
ベッドからストレッチャーへの移乗法】

<https://youtu.be/Nso-fbLaAuY>

